

第6編

国家試験の変遷と合格状況



びわ

国家試験の変遷と本学の合格状況

黒坂知子(元教務主任)、月本規子(事務係長)、石塚睦子(教務主任)

昭和23年、保健婦・助産婦・看護婦の資質向上、医療普及をめざし「保健婦助産婦看護婦法」が制定され、昭和25年春に第1回看護婦国家試験(以下国試という)が行われた。本校の1回生は昭和42年3月第33回の国試を受験した。そして、今年平成25年2月、47回生は第102回国試を受験している。表1には、どの回生がいつ国試を受験したかを示してみた。

国試は、昭和25・26年の第1・2回は年1回行われたが、昭和27年の第3回目から平成元年まで年2回行われていた。つまり、1回生から23回生と別科生、進学科生の時代には、年2回国試が行われていたことになる。尚、進学科は、9月入学であったため、新卒時の国試受験時期は秋であった。

表1には、国試に関わる特記事項についても記載している。出題内容については、昭和58年から状況設定問題が導入された。平成16年からは必修問題が30問導入。必修問題は絶対基準のため、一般問題、状況設定問題の点が取れても、必修が80%取れなければ落ちてしまうこととなった。そして、平成22年からは必修問題が30問から50問に増加している。また、平成21年より写真等の視覚素材問題が導入され、平成25年には、計算問題(例えば、点滴の滴下数、消毒液の計算、酸素ポンベの残量計算、肥満指数など)においては、四肢・五指択一で選択すればよいという問題だけでなく、計算後、直接マークシートの数を塗りつぶすという問題も導入されることとなり、国試時間の総時間数も増えていることから、受験生にとっては、より難易度が増しスピーディな回答が求められてきている。

表2には、本校学生の新卒時国試受験者数と合格者数を数値で示し、図1～3ではそれをグラフで示した。本校の第1回生から5回生まで国試合格率100%を維持し、その後も全体を通して全国平均を上回る合格率を維持してきた。別科と進学科の場合は、当時の全国の合格率データが殆ど資料として残っていなかったが、表2に示したように進学科7～10回生に関しては記録が残っていた。その部分を見ると、全国の合格率が46.5～68.6%であるのに対して、進学科の7～10回生の合格率は、70.4～96.2%であり、全国の合格率を大きく上回っていた。進学科の他の回生の合格率も76～100%であり、別科生も75～100%の合格率であった。つまり、三つの課程ともにそれなりに評価できる国試結果を得てきたと考える。

表 1.国試に関わる特記事項並びに国試回数と受験回生(新卒時)

西暦	邦暦	看護師国試に関わる特記事項	看護師国試回数		受験した回生					
					本科・看護科(春)	別科(春)	進学科(秋)			
1948	昭和23	保健婦助産婦看護婦法制定								
1949	昭和24									
1950	昭和25		第1回							
1951	昭和26	准看護婦制度制定	2							
1952	昭和27	国試年2回へ	3	4						
1953	昭和28		5	6						
1954	昭和29		7	8						
1955	昭和30		9	10						
1956	昭和31		11	12						
1957	昭和32		13	14						
1958	昭和33		15	16						
1959	昭和34		17	18						
1960	昭和35		19	20						
1961	昭和36		21	22						
1962	昭和37		23	24						
1963	昭和38		25	26						
1964	昭和39		27	28						
1965	昭和40		29	30						
1966	昭和41		31	32						
1967	昭和42		33	34				1回生		
1968	昭和43		35	36				2		
1969	昭和44		37	38				3		
1970	昭和45		39	40				4		
1971	昭和46		41	42				5		
1972	昭和47		43	44				6	1回生	
1973	昭和48		45	46				7	2	
1974	昭和49		47	48				8	3	
1975	昭和50		49	50				9	4	
1976	昭和51		51	52				10	5	
1977	昭和52		53	54				11		1回生
1978	昭和53		55	56				12		2
1979	昭和54		57	58				13		3
1980	昭和55		59	60				14		4
1981	昭和56		61	62	15		5			
1982	昭和57		63	64	16		6			
1983	昭和58	状況設定問題導入	65	66	17		7			
1984	昭和59		67	68	18		8			
1985	昭和60		69	70	19		9			
1986	昭和61		71	72	20		10			
1987	昭和62		73	74	21					
1988	昭和63		75	76	22					
1989	平成元		77	78	23					
1990	平成2	国試年1回へ 国試出題基準適用	79		24					
1991	平成3		80		25					
1992	平成4		81		26					
1993	平成5		82		27					
1994	平成6		83		28					
1995	平成7		84		29					
1996	平成8		85		30					
1997	平成9		86		31					
1998	平成10		87		32					
1999	平成11		88		33					
2000	平成12		89		34					
2001	平成13		90		35					
2002	平成14	「保健婦助産婦看護婦法」が「保健師助産師看護師法」に改正 女性を「看護婦」、男性は「看護師」と称していたが、男女とも「看護師」に制定	91		36					
2003	平成15		92		37					
2004	平成16	絶対基準の必修問題30問導入	93		38					
2005	平成17		94		39					
2006	平成18		95		40					
2007	平成19		96		41					
2008	平成20	フィリピンとインドネシアと経済連携協定(EPA)調印。現地の看護師国家資格取得者の日本での国試受験承認	97		42					
2009	平成21	写真等の視覚素材問題導入	98		43					
2010	平成22	初の海外合格者誕生 必修問題50問へ増加	99		44					
2011	平成23		100		45					
2012	平成24		101		46					
2013	平成25		102		47					

表 2. 国家試験合格率(新卒時)

西暦	邦歴	看護科					別科				進学科				
		回生	受験者数	合格者	合格率	全国合格率	回生	受験者数	合格者	合格率	回生	回数	卒業人数	合格者	合格率
1967	昭和42	1	13	13	100.0	93.4									
1968	43	2	27	27	100.0	95.4									
1969	44	3	25	25	100.0	98.3									
1970	45	4	25	25	100.0	99.1									
1971	46	5	24	24	100.0	98.1									
1972	47	6	27	26	97.6	96.3	1	28	21	75.0					
1973	48	7	37	36	97.3	97.5	2	40	39	97.5					
1974	49	8	39	39	100.0	97.5	3	36	35	97.2					
1975	50	9	36	35	97.2	95.6	4	40	40	100.0					
1976	51	10	31	31	100.0	95.0	5	48	45	93.8					
1977	52	11	49	47	95.9	92.4					1	第54回(秋)	32	30	93.8
1978	53	12	76	75	98.7	89.3					2	56	28	26	92.9
1979	54	13	66	66	100.0	87.7					3	58	25	19	76.0
1980	55	14	66	66	100.0	88.3					4	60	25	20	80.0
1981	56	15	67	67	100.0	98.4					5	62	25	25	100.0
1982	57	16	69	69	100.0	95.6					6	64	26	24	92.3
1983	58	17	65	63	97.0	93.1					7	66	27	19	70.4 (51.3)
1984	59	18	68	68	100.0	96.8					8	68	33	24	72.7 (46.5)
1985	60	19	63	63	100.0	98.7					9	70	33	28	84.8 (67.6)
1986	61	20	73	73	100.0	93.0					10	72	26	25	96.2 (88.6)
1987	62	21	71	70	98.6	98.4									
1988	63	22	80	77	96.3	95.4									
1989	平成元年	23	72	72	100.0	98.0									
1990	2	24	79	79	100.0	95.8									
1991	3	25	74	68	91.9	95.4									
1992	4	26	80	80	100.0	98.5									
1993	5	27	77	77	100.0	99.2									
1994	6	28	79	79	100.0	98.9									
1995	7	29	108	105	97.2	96.0									
1996	8	30	88	85	96.6	89.8									
1997	9	31	90	89	98.9	87.0									
1998	10	32	82	76	92.7	83.6									
1999	11	33	82	82	100.0	97.1									
2000	12	34	78	78	100.0	96.4									
2001	13	35	73	68	93.2	84.1									
2002	14	36	100	89	89.0	84.3									
2003	15	37	77	76	98.7	97.6									
2004	16	38	77	72	93.5	95.9									
2005	17	39	91	86	94.5	91.4									
2006	18	40	80	77	96.3	88.3									
2007	19	41	84	79	94.0	95.9									
2008	20	42	82	79	96.3	90.3									
2009	21	43	80	78	97.5	93.2									
2010	22	44	88	86	97.7	97.7									
2011	23	45	78	75	96.2	91.8									
2012	24	46	81	78	96.3	90.1									
2013	25	47	92	77	83.7	88.8									

()は全国

【棒グラフ】

■ 本校新卒受験者数
□ 本校新卒合格者数

名

【折れ線グラフ】

— 本校新卒合格率
..... 全国新卒合格率

%

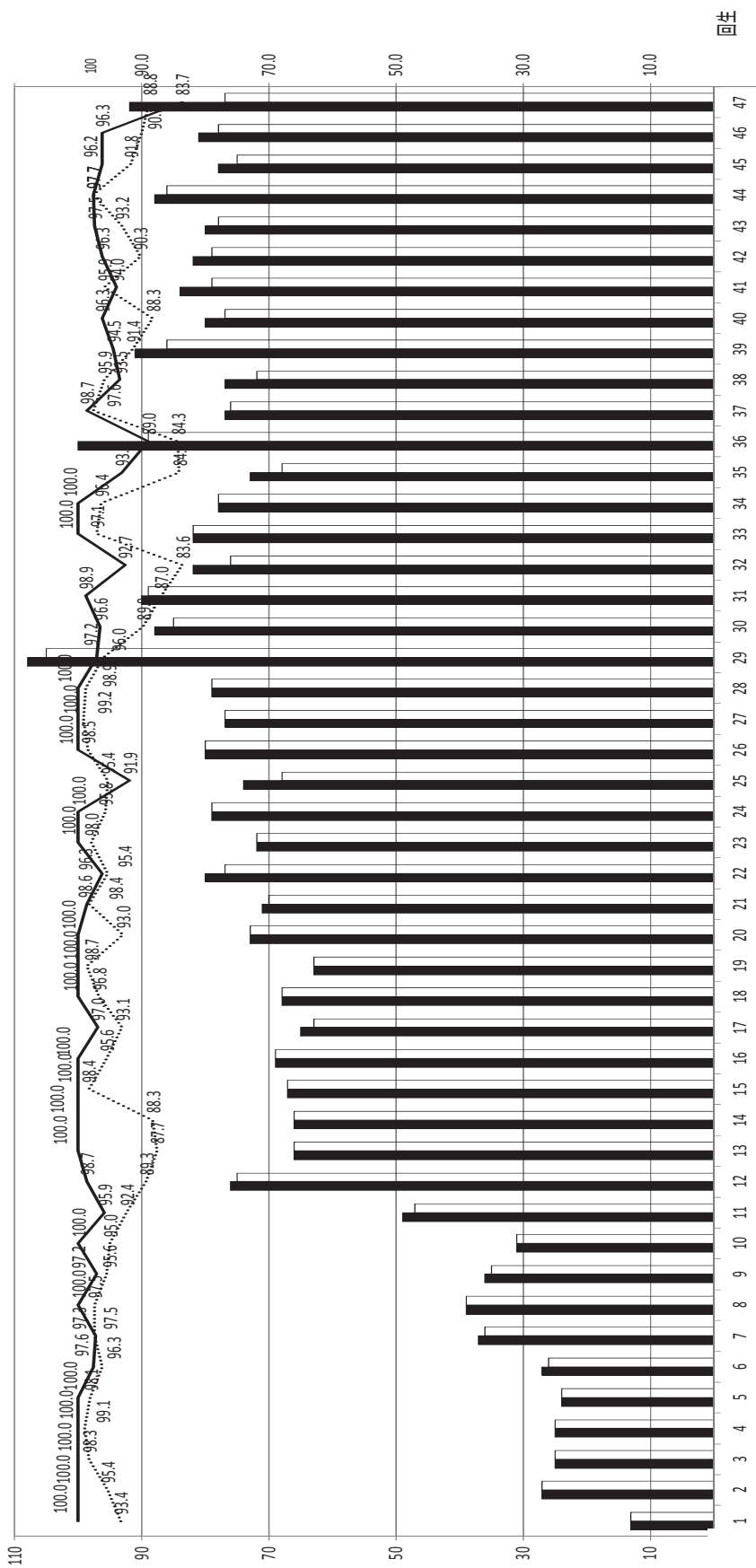


図 1. 国試受験者数と合格者数、本校合格率と全国新卒合格率の推移(新卒時)

【棒グラフ】

本校新卒受験者数
本校新卒合格者数
名

【折れ線グラフ】

本校新卒合格率
%

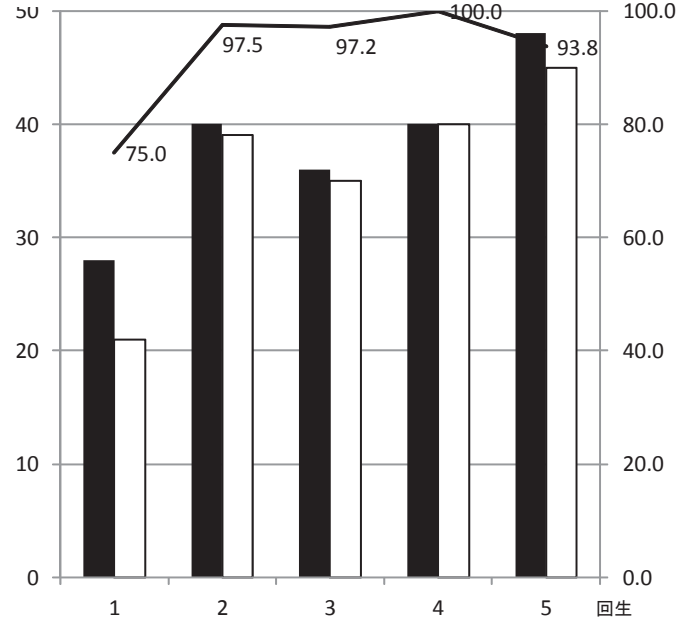


図 2.別科生の受験者数と合格者数、合格率(新卒時)

【棒グラフ】

本校新卒受験者数
本校新卒合格者数
名

【折れ線グラフ】

本校新卒合格率
%

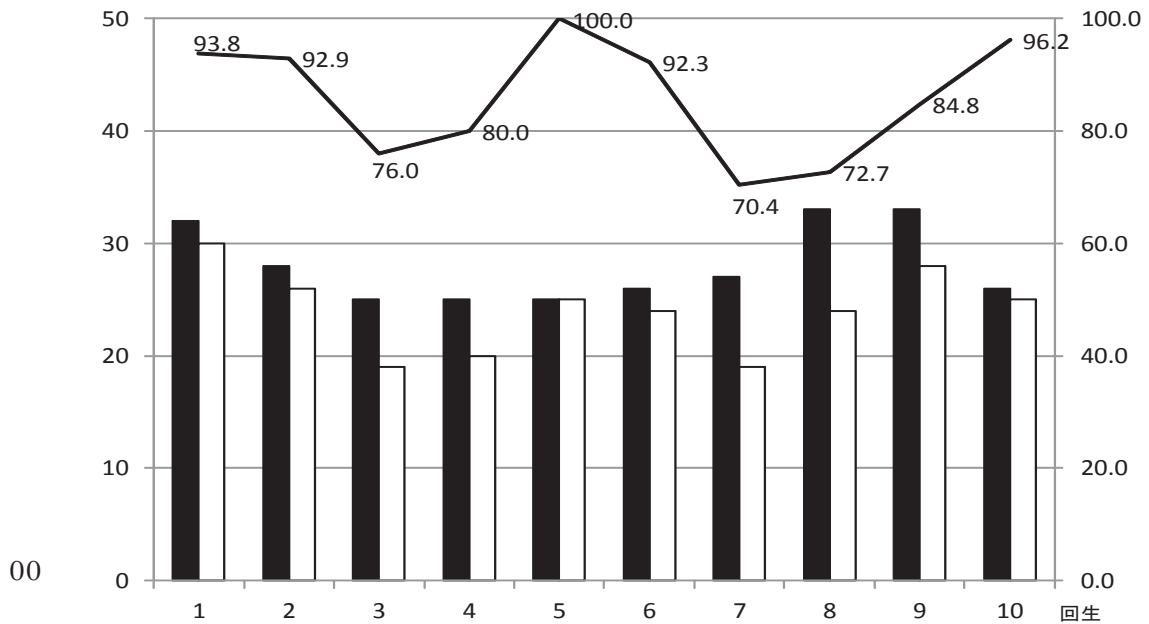


図 3.進学科生の受験者数と合格者数、合格率(新卒時)